



おかむら通信 172号



令和元年 8月号

ご挨拶／

みなさま、とっても暑い日々が続いていますが、是非体に気を付けて、もし熱中症でおかしくなりかけたら、水分補給+体を冷やして、すぐに「おかむら」に来てください。さて、いま、院長の頭にあるのは 熟考、在宅、常勤2人体制 というイメージ、そして皆様のために、当分元気に頑張っていかなければならない、ということです。人生いろいろありますが、負けずにガンバってゆきましょう。

今月の言葉／

患者さんには優しくしなさい。貧富・見かけ・損得・善悪人・障害の有無に目を奪われず徹底的に弱い者の立場で医療を施しなさい。

(日本のとある田舎のおじいさんから頂いた言葉)

院長より//

来年体制について

ほぼ庸介先生と院長の仕事配分、同じくらい、得意科目・庸介先生、 消化器内科、一般内科、胃カメラ、大腸カメラ。内視鏡室でも診察、特に院長外来にあるようにすべての検査の画像がお見せできるようにディスプレイを備えます。来年の4月以降、徐々に大腸カメラができるように機械類を整えてゆきます。土曜の午後外来をオープンします。

家庭血圧について

血圧、血圧ってうるさいですね。確かに忙しい方々にとっては自分で決まった時間に毎日のはかるのは大変ですね、しかも手帳を提出するなんて、ではこうしましょう、随時血圧、いつでもどこでも、ご自分の気の向いた時に、測って、毎日でなくてもいいのですよ。2日、3日に一回、あるいは体調に変動があったとき。これでも大変、皆さんの全身管理に役立ちます。

いつも言っている総合診療とは、

これとても大切な概念なのですよ、日本では、各科に分かれて、医師が自分の標榜の科しか診ない、すこし重症になると、すぐ紹介する。だからみなさんは、あちこちの科をたらいまわしにされる。救急の時もです。日本の総合診療が着実に広まるのを期待しています。

さあ熱中症

当院の得意技のひとつです。重症になる前にいらしてください。

小児で補液(点滴で)

近隣で、小児科で点滴をしてくださるところがほとんどなくなってきてしま





しました。どうぞいらしてください。補液ひとつで見違えるほど小さな子供は回復します。

病気の発症について

病気は見えない、症状がない、気が付かない。手遅れになる前にみつけ、手を打ち治療を始めればどんなにたくさんの人々が助かるか。

宇宙観

ときどき院長先生は、おかしなことをいいますね。地球を、国を、自分の住んでいる街を、と大きな視点から物事を見、とらえてみましょう。

心不全

最近、高齢な患者さんをよーく診察させていただくと、慢性心不全（軽症から中等症まで）に陥りご自分で気づかれていない方々がいらっしやいます。

小さな事件

点滴をされた患者さんから訴えがありました。

採血をしていないのに、血液検査料金を支払ったと。

点滴と採血が同時にある方には、看護師が点滴針を刺すときに患者さんがわからないうちに最初に採血しています。ベッドに寝ていると、ベッドのへりの下方でとっていますので、患者さんから見えにくいので、わからなかったのではないかと思います。また看護師が採血と点滴をしますと通常声掛けしているのを忘れたのかもしれませんが、患者さんの具合が悪くてとても聞ける状態ではなかったのかもしれませんが。

<7月の院長の活動>

12/ (金) 内視鏡洗浄機点検管理について業者と話し合い

17/ (水) 昼 新松戸中央病院腎臓内科部長兼副院長 中村 司 先生来院

22/ (月) JP コンサルタントと当院方針検討

27/ (土) 日本ルーマニア交流協会 ミハエラ、カーラ、染谷氏と懇談

28/ (日) 難病協力指導医研修 千葉保健医療センター

29/ (月) 当院カンファレンス

今後の予定

*順天度大学医学部 5,6 年生が臨床実習のため 10、11、12 月来られます。

*以前松戸市総合医療センター外科の部長・副院長が来られました。つい最近新松戸中央病院腎臓内科副院長も来られました。新東京病院外科部長の先生も来られました。病診連携のためです。来週、千葉西病院外科の先生方が来られる予定です。わざわざ申し訳ないかぎりです。



今年の8月予想では、平年並み以上の暑さになりそうですね。日傘、扇子、麻のハンカチが手離せません。

当院でも、受付横に扇子をご用意しています。お役立て下さい。七種

